12月 みかんぐみだより

2024年 12 月
尚徳福祉会
おぐら保育園

早いもので今年も残り１か月となりました。クリスマスソングやイルミネーションなど、あちらこちらでクリスマスの雰囲気が楽しめる季節になりました。師走に入ってさらに寒さが増し、園庭で遊んでいる最中も冷たい風が吹くたびに、冬の寒さを感じます。「お部屋に入るよ」と子どもたちに声をかけると「入らない。まだ遊ぶ！」と答えが返ってきます。少しくらい寒くても全然気にせず、元気いっぱい遊んでいます。

シール貼り 大好き

クリスマスシーズンに合わせて、クリスマスリースの制作をしました。緑の色画用紙に丸形のシールを渡すと、ペタペタと自由に貼り始め、さまざまな水玉模様ができました。

その水玉模様をリースの飾りに見立てて、リース型にカット。さらにクリスマスモチーフのオーナメントをリース型の好きな場所に飾り付け、素敵なクリスマスリースの完成です。

シール貼りの好きな子は画用紙いっぱいにシールを貼り、シールがなくなると「シールちょうだい」と何度も催促してくるため、なかなか終わりが見えない子が多くいました。

保育室の中もクリスマスの雰囲気になるのにあわせ、今月はクリスマスソングを歌いたいと思います。「ジングルベル」の曲に合わせて、すずを鳴らしてリズム遊びをしたいと思います。

お家でも歌ってくれるのを楽しみにしていてください。

幼児さん上手だね

「今日はホールに行くよ」と声を掛けると、いつものように喜ぶ姿の子どもたち。

階段を登りホールに着くと、黒いカーテンがかかっていていつもとは違う雰囲気に「なんだろう？」と不思議そうに近づき、カーテンの前に座ると…カーテンが開いて、音楽が流れて来ると「何が始まるのだろう？」と嬉しそうに始まるのを待っている姿が見られました。

歌に踊りにと終始釘付けになっていた子どもたちは、１曲終わるごとに大きな拍手をしていました。カーテンが閉まると、カーテンの裏側が気になりカーテンをめくって覗き込む姿が見られました。

リハーサル時間は４０分程ありましたが、素敵な歌や踊り、劇に見とれてしまい、あっという間の時間でした。歩き回る子もおらず、集中して見ていられ「長い時間よく座っていられ凄いなぁ～」と感心すると共に、成長を感じられる時間でした。

≪お願い≫

自分で着替えをすることに興味をもつ子が増えてきました。ズボンや靴下が１人で脱げるようになった子は、さらに肌着やＴシャツも自分で行う姿が見られるようになってきました。自分で脱いで、そのまま置きっぱなしになってしまうこともあります。名前がない物や薄くなっている物がないか、確認をお願いいたします。